

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 花房 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

男子は、8種目中1種目だけが全国平均を上回り、あと3種目は、ほぼ平均値だった。女子は、6種目が上回っていた。「一週間に学校の体育の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをやっている時間の合計」は、1日平均男子83.6分、女子32.4分だった。「地域のスポーツクラブに入っている割合」も、男子55.5%、女子35.7%と男子の方が上回っている。しかし、朝食や夕食を毎日食べている割合は、男子77.8%女子92.9%と女子が高い。また睡眠時間においても、3.6時間未満の児童は、男子の方が高い。以上のことから、運動習慣に加えて、基本的な生活習慣が身に付いていることが、運動能力や体力向上と関係していることが考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・ 準備運動では、体力向上プログラムを活用し、ジャンプアップ運動等を必ず行うようにする。
- ・ ふだんの体育の授業では、めあてと振り返りを必ず行うようにする。
- ・ 体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を多く取り入れるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・ 1学期は、キッズダンス(週2回、中休み)、2学期は、なわとび・マラソン(週2回、中休み)、3学期なわとび・マラソン(毎日、中休み)を1校1取組として、取り組む。
- ・ 早ね・早起き・朝ごはんの重要性を、PTA理事会や、学級懇談会、学校・学年通信で啓発する。
- ・ 夏休み・冬休み・春休み中に体力アップチャレンジ(記録シートを作り配布)を励行する。